




研修名	稲沢市養護教諭研修会		
派遣日時	令和5年8月23日(水) 14時00分～15時30分		
対象者	養護教諭54名	派遣時間	90分
外部講師	名古屋大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 原 万里子 岡嶋 彩乃		
ねらい	学校におけるがん教育の理解を深め、実践につながる機会をつくる。事例をもとに学校でがん教育を行う際の配慮や注意すべき点について学ぶ。		
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】 7月27日(木)名古屋大学医学部附属病院にて打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の進め方、参加者や研修の方針について確認、会場までの移動について確認 <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会のことば ・研修会 講義「子どもたちと一緒に考えるがん教育について」 グループワーク「事例に対する対応について」 ・閉会のことば 		
成果・感想	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門看護師として、がん患者の方と向き合い、治療やケアにあたっている方から話を聞いたことにより、がんについての正しい知識を身に付けることができた。 ・がんの早期発見や予防のために、各学校においてがん教育を行う必要があることを理解することができた。 ・「がん患者と思われる母親が、授業参観に参加していたときの子どもの反応」に関する事例をもとにグループワークを行い、児童や保護者に対する具体的な対応について意見交流をすることができた。 ・学校保健活動を推進する立場にある保健主事と養護教諭が研修を受けたことは、各学校でがん教育を進めるための指導者を育成する機会となった。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識に基づいたがん教育が実施されるよう、保健主事、養護教諭がリーダーシップをとって各学校においてがん教育を推進していく。 ・教職員、保護者、学校医など、様々な立場の方にがん教育について理解をしてもらい、ともに考えていくことができるよう学校保健会での研修会を計画したい。 <p>【感想・写真等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「二人に一人ががんになる」という話を聞き、がん教育の必要性を強く感じた。その反面、家族や身内にがん患者がいて心を痛めている児童生徒がいる可能性が高いことから、学級、学年でがん教育に取り組む難しさを感じた。言葉を精選したり、やり方を工夫したりする必要があるため、どのような手法とか手立てがあるかについてもさらに知りたい。 ・実際ががん治療にあたる現場の方の話が聞けて良かった。がん患者やその家族について、どのように理解し、共感していけばよいか、糸口が見えたように思う。家族の病気で悩んでいる児童に対して、どのように心のケアをしていけばよいか、事例を通して学ぶことができた。 ・がんの特性を知るだけでなく、家族にがん患者がいる児童生徒や、その周りの児童生徒への対応の仕方も考えることができた。デリケートな内容なので、正しい知識をつけた上で指導にあたりたい。 ・がんについて、自分自身が知っている情報が少なく、知識が足りていなかった感じた。実際に学校現場でがんを患っている子どもに出会ったことはないが、クラスにいた場合、どのように対応していったらいいのか、1人で悩まず、学校全体で考えていけたらよい。 ・講演を聞くまで、がんは不治の病と認識しており、怖いというイメージが強かった。どのような病気なのか、どうしたら予防できるのかなど、子どもたちにもきちんと伝えていかなければいけないと感じた。 ・がんが検診で見つかる大きさから、進行がんになるまでの期間が1～2年と短いことに驚いた。毎年の検診の大切さを実感し、予防とともに早期発見の必要性について子どもたちに伝えていきたい。 ・保健の授業内でしか取り扱ったことがなかったので、がん教育をする機会をもっと増やしていきたい。 		

研修名	東浦町学校保健部会研修会		
派遣日時	令和5年12月12日(火)14時30分～16時30分		
対象者	保健主事(10名)・養護教諭(10名)	派遣時間	120分
外部講師	命のマガジン「messenger」編集長 杉浦 貴之		
ねらい	保健主事、養護教諭が、がんに関する知識、命の大切さ、自己の在り方や生き方について理解を深め、がん教育を推進することができるようにする。		
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール・電話連絡で打ち合わせを行った。 ・打ち合わせでは、以下のような希望を伝えた。 子どもたちに生き方・在り方を考えさせるために話を聞きたい。 実際に行った講演での様子や子どもたち・その周りの感想を知りたい。 <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師自身ががんになったときの気持ちや病気との向き合い方 ・子どもたちに生き方・在り方を考えさせるために講演活動で伝えていること ・実際に行った講演での様子や子どもたちの反応 ・がん患者の理解や共に生きる姿勢を育てるために大切なこと 		
成果・感想	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者としての講師自身の体験を聞くことにより、がん患者への理解を深めることができた。 ・自他の健康と命の大切さや生きる姿勢など子どもたちに伝えたい思いを学ぶことができた。 ・がんに関する知識を深め、がんの治療や家族・身の回りの人々の協力について知ることができた。 <p>【今後の取組予定】</p> <p>令和2年から町内で取り組んでいるがん教育について、役立て、来年度以降の取り組みに活かす。</p> <p>【感想・写真等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きていてくれることがうれしい」という言葉に感動しました。 ・がん経験者の杉浦さんだから伝えられることだったと感じた。 ・来年度の学校保健委員会等の講師として、子どもたちに向けて話していただく機会を設けたい。 ・がん予防の計画(生き方・在り方含め)を年間計画に位置づけることの重要性を再認識した。 		
	  		

研修名	愛知県高等学校保健体育研究大会		
派遣日時	令和5年12月8日(金)15時00分～16時00分		
対象者	保健体育科教諭・養護教諭(231名)	派遣時間	60分
外部講師	がん哲学外来メディカルカフェシャチホコ記念 彦田かな子		
ねらい	がんの正しい知識や、命の大切さへの理解を深め、健康教育の充実を図る。学校でがん教育を行う際に配慮すべき点について学ぶ。		
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>令和5年7月 講演会の講師を引き受けていただけるか打診し、了承を得た。</p> <p>令和5年9月 正式に講師を依頼し、講演会のテーマについて相談をするとともに、主催者が準備する物品等の確認をした。</p> <p>令和5年11月 講演会のテーマの最終確認をするとともに、当日の資料のデータを送付していただいた。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>午後2時に来場され、打ち合わせ及び機材のセッティング等を行った。</p> <p>午後3時から午後4時まで、保健体育科教員と養護教諭を対象に、1時間の講演、並びに質疑応答をしていただいた。</p> <p>午後4時30分に会場を後にされた。</p>		
成果・感想	<p>【成果】</p> <p>講師の先生のがんの体験談や、これまで様々な学校で講演をされた際の児童・生徒の感想等を踏まえた講演内容で、今後、各学校でがん教育に関する効果的な授業を行う上で必要な知識、配慮事項などを御教示いただき、学びが深まった。</p> <p>がんは誰もがかかる可能性のある病気であるため、高校生という早い時期から、がんについて関心を持ち、早期発見・早期治療の重要性や、がんの予防について、自分事として考えることのできる生徒の育成が必要である。今回の講演で、がんの体験者だからこそ話せる内容や、家族の支えについての話題にも触れていただき、授業展開を考える上で参考になる貴重なお話を伺うことができた。とても有意義な講演会となった。</p>		